



2ハンドル 混合栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、2ハンドル混合栓をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損など)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

接触禁止 接触禁止を示します。

施工上のご注意

禁止

- 湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。
- 配管内の、ごみや砂などは完全に洗い流してください。
- 給湯温度は85℃以上で使用しないでください。85℃より高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部位の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生があります。
- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生があります。

注意

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがありますので、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

必ず実行

- 給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。
- 各部の接続を行う際は、パッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認してください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生があります。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
- 給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生があります。

使用上のご注意

禁止

- 給湯温度は最高85℃まででお使いください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度をおすすめします。
- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生があります。

注意

- 湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分ご注意ください。
- 小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけど、ケガをする恐れがあります。
- 他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

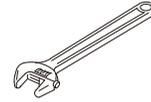
安全上のご注意(つづき)

使用上のご注意(つづき)

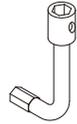
- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生があります。
 - 湯をご使用の際は、水側ハンドルから開栓してください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開栓し、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
 - 湯の使用後は、必ず水側ハンドルを開栓し、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
 - 可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので修理を依頼してください。
- 必ず実行**
- 高温の湯をご使用の際は、吐水口(パイプ)に直接肌を触れないでください。吐水口(パイプ)は高温になっているため、やけどをする恐れがあります。
- 接触禁止**

施工に必要な工具

● モンキーレンチ



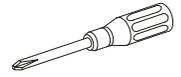
● 立水栓取付工具



● マイナスドライバー



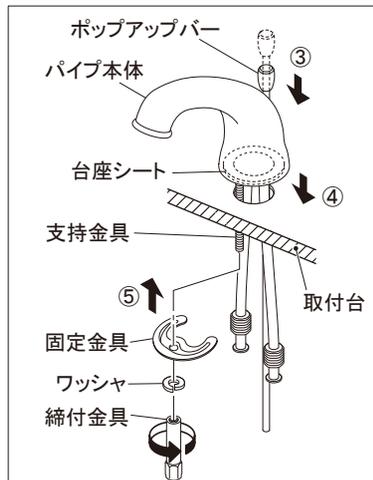
● プラスドライバー



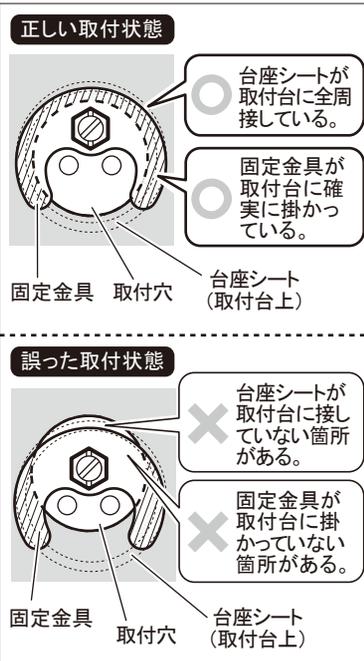
取付方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。

1. パイプ本体を取付けます。



- ① パイプ本体を設置する場所の取付穴径を確認します。
- ② パイプ本体の支持金具より締付金具・ワッシャ・固定金具を外します。
- ③ パイプ本体後部のポップアップ取付穴にポップアップバーを差込みます。
- ④ パイプ本体下部の台座シートを確認し、取付台に差込みます。
- ⑤ 取付台下部より固定金具・ワッシャ・締付金具の順で取付け、締付金具を「立水栓取付工具」などでしっかりと締付け、パイプ本体を確実に固定します。
* パイプ本体を固定する際は、支持金具を取付穴に寄せた状態で固定してください。



- ⑥ 左図を参照し、取付状態を確認します。
* 台座シートが取付台に全周接するように取付しているか。
* 固定金具が確実に取付台に掛かっているように取付しているか。

注意

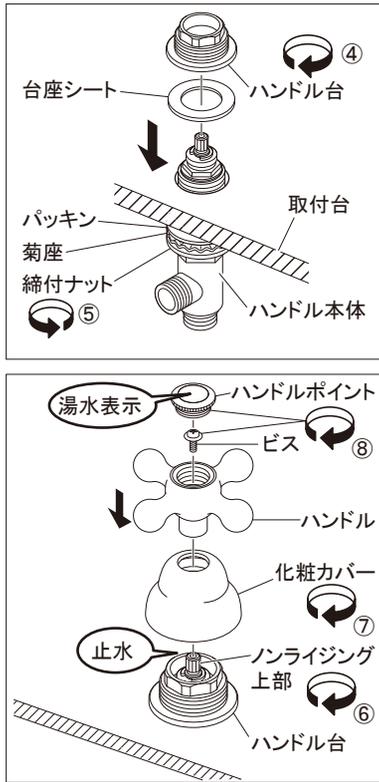
- パイプ本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますので注意してください。
- 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますので注意してください。

必ず実行

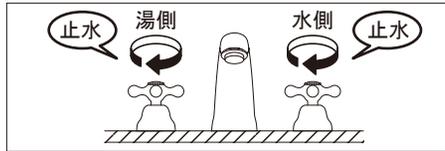
- 締付金具は、締付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- パイプ本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

取付方法(つづき)

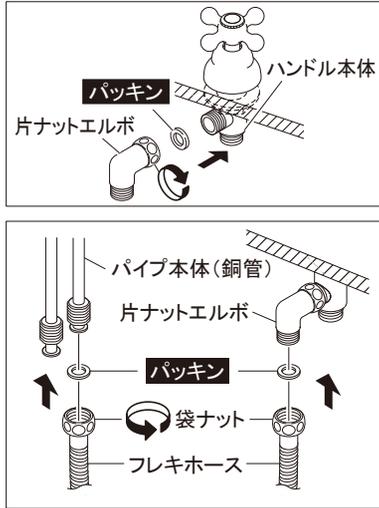
2. ハンドル本体を取付けます。



- ①ハンドル本体を設置する場所の取付穴径を確認します。
- ②ハンドル本体より化粧カバーとハンドル台を取外します。
- ③取付台下部よりハンドル本体を差込みます。
- ④ハンドル台下部の台座シートを確認し、ハンドル台を当りがあるまでねじ込みます。
- ⑤取付台下部より締付ナットを「レンチ」などでしっかりと締付け、ハンドル本体を確実に固定します。
- ⑥ノンライジング上部を時計まわりにまわし止水状態にします。
- ⑦化粧カバーを取付けます。
- ⑧ノンライジング上部にハンドルをはめ込み、ビスを「プラスドライバー」で固定し、ハンドルポイントを取付けます。
*ハンドルの湯側・水側を確認してください。
*止水位置は、パッキンの摩耗劣化によりずれる場合があります。

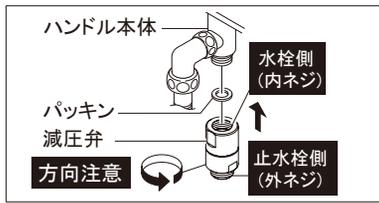


3. パイプ本体とハンドル本体を接続します。



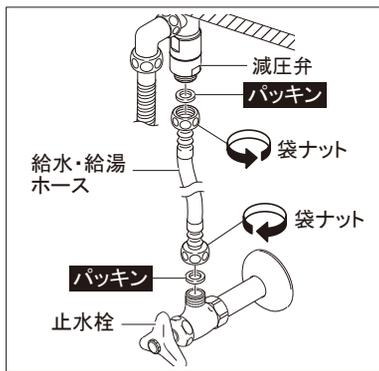
- ①ハンドル本体にパッキン、片ナットエルボを取付けます。
 - ②フレキホースの袋ナットにパッキンをはめ込んでから、ハンドル本体の片ナットエルボとパイプ本体の銅管に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- | | |
|-------------|---|
| 禁止 | 銅管は無理に曲げないでください。漏水を起し、家財などを濡らす恐れがあります。 |
| 必ず実行 | 片ナットエルボおよびフレキホースを取付けの際は、パッキンを必ずはめ込んでください。 |

4. ハンドル本体に減圧弁を取付けます。



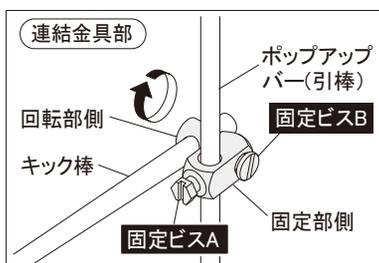
- 減圧弁にパッキンをはめ込み、ハンドル本体に「レンチ」などでしっかりと締付け固定します。
- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 注意 | 減圧弁には、指定の方向があります。逆向きを取付けしないでください。 |
|-----------|-----------------------------------|

5. ハンドル本体と止水栓を接続します。



- 給水・給湯ホースの袋ナットにパッキンをはめ込み、減圧弁と止水栓に「レンチ」などでしっかりと締め付けます。
- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 注意 | 湯側・水側を確認して、逆配管にならないようご注意ください。 |
| 必ず実行 | 給水・給湯ホースを取付けの際はパッキンを必ずはめ込んでください。 |

6. 連結金具を接続します。



- ポップアップ排水金具の排水栓を操作するために、排水金具のキック棒と水栓のポップアップバーを接続します。
- 排水金具のキック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締付け、ポップアップバーに固定します。
- *円滑に作動しない場合は連結金具の固定位置で微調整をしてください。
 - *調整後は、固定ビスA・Bをしっかりと締付けてください。

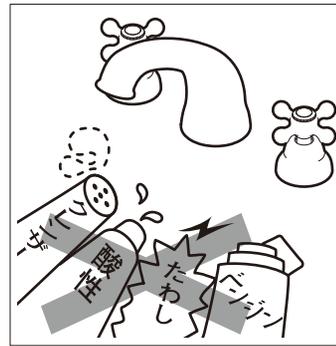
施工後の確認

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認してください。
*適量、適温で吐水するために、止水栓で水量、湯量を調節してください。

お手入れのしかた

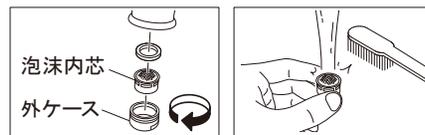
器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



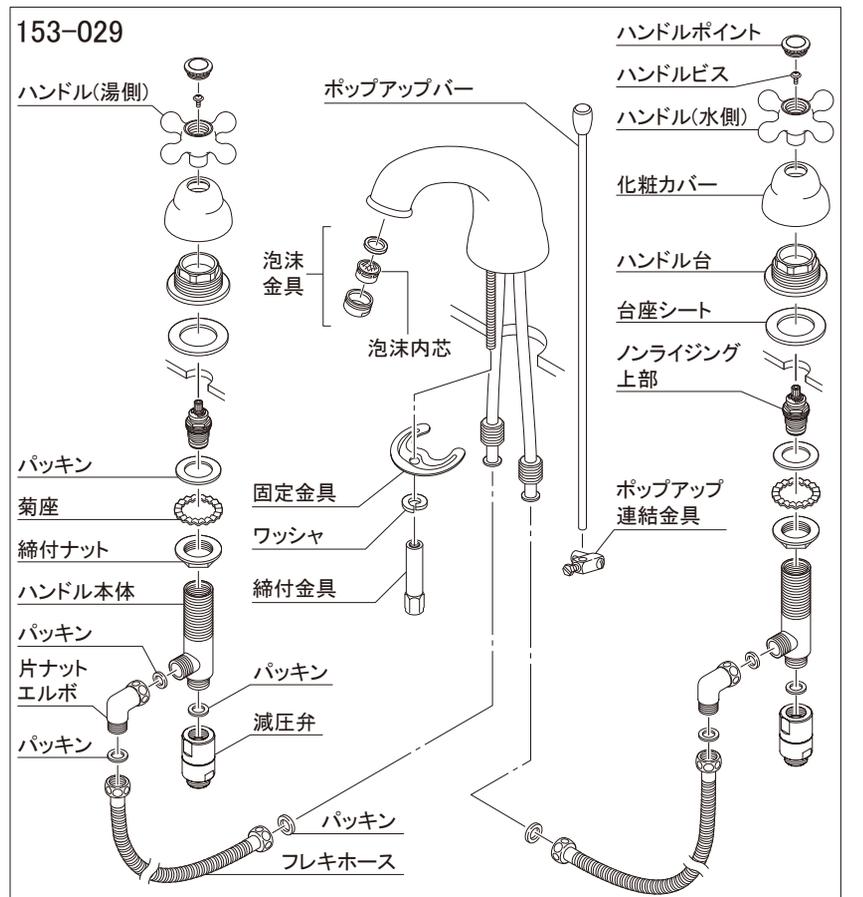
- 水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
 - 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。
- | | |
|-----------|---|
| 注意 | 金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。 |
|-----------|---|

泡沫内芯のお掃除



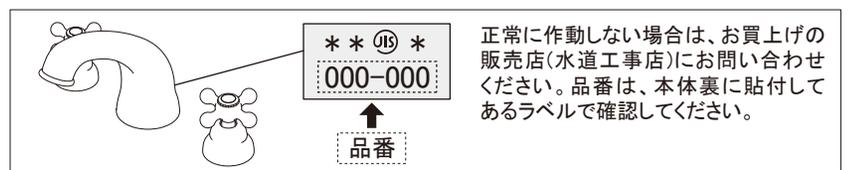
最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

分解図



- *フレキホースのパッキンは、あらかじめ取付けられています。
- *製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理を依頼されるときは



正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。



株式会社 カワダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 大阪 ☎(06)6730-3391 札幌 ☎(011)704-1511
 名古屋 ☎(052)504-1551 福岡 ☎(092)611-4611 仙台 ☎(022)239-8371
 広島 ☎(082)278-2821

0120GF M-A3106B 無断転載・複写を禁ず